

学生時代、スポーツクラブとは別に、映画部に所属していた。
戦争で引き裂かれた悲しい恋の物語。ミッシェル・ルグランの切ない音楽も
耳に残っている。当時、フランス映画は珍しい。
カトリーヌ・ドヴューヌ、初主演、「シェルブールの雨傘」

ミュージカル映画のファーストシーン、雨がポツポツ落ちてきて、
やがて、色とりどりの傘が美しい花のように舞う。セリフすべてが歌で構成。



戦争、失恋、思い通りに行かない世の中。
2018年、1ヶ月間、取材で滞在したフランスで、新聞「フィガロ」を購入。
カトリーヌ・ドヴューヌの写真が第一面に。ニューヨークタイムスにも。

山はみどり 野に花 人には心

ご縁。シェルブール、距離的にも、今一度、再訪したかったが、夢と現実とは、食い違ふことが多い。映画の世界ではないが、このままそっとしておくのもいいのかもしれない。

旅も人生もいろいろあって当然。霧の中へ消えるもよし。
夢は、いいように描ける。現実とは、ノンフィクション。厳しい。

